

こうめいとうぎいんだん
公明党議員団

こじま はるみ
小島 晴美



録画映像



問 不登校・ひきこもり対策について問う

県内の不登校児童生徒数が令和6年度に過去最多を更新した背景には複数の要因があり、一層複雑化しているが、津市の不登校児童生徒数、相談の仕組み、相談窓口の設置などの状況は。また、ひきこもりは若年層に限らず成人や高齢者にも広がっており、孤立や生活困窮、介護負担の増加など多方面に影響を及ぼす深刻な社会課題であるが、幅広い世代へのひきこもりに対する支援体制は。

答 様々な相談窓口を設け、幅広い世代への支援体制を整えている

津市立の小・中・義務教育学校の不登校児童生徒数は、令和6年度は625人となっており、学校内では、担任をはじめ、養護教諭、スクールカウンセラー等による相談体制を整え、状況に応じた支援を行うとともに、校内教育支援センターを設置し、学習支援等を行っている。学校外では、三重大学・津市子ども教育センター内等に教育相談室および相談窓口を設けるとともに、民間と連携して支援を行っている。成人・高齢者を含むひきこもりについては、生活福祉・自立応援包括支援窓口を設置するとともに、県の関係機関等と連携し、適切な支援につなげられる体制を整えている。

その他の質疑・質問

- R S ウイルス感染症予防接種について
- R S ウイルス感染症の予防方法と治療方法は
- R S ウイルスワクチン予防接種の公費助成は
- 南海トラフ巨大地震への備えについて
- 地区防災計画の取り組みの推進について
- ハザードマップの見直しについて
- 感震ブレーカー普及促進と補助金制度について

▶ 停電から復旧した際に通電火災を防ぐ感震ブレーカーの普及促進と補助金制度の創設を



出典：内閣府HP

つし そうせい
津市 創成

よしかわ いっせい
吉川 一正



録画映像



問 新船舶の建造スケジュールは

高速船フェニックスの後継となる新しい船舶がいつごろ完成し、就航できるのかが気になるところである。

一日でも早い新しい船舶の就航を願っているが、現時点において、順調に事業が進んだ場合の今後の建造スケジュールをどのように考えているか。

答 順調に進めば令和11年度に新たな船舶が就航する可能性もある

国の補助事業の活用を前提とした場合、最も早いスケジュールとしての仮定の話になるが、例年2月に事業の応募があるので、令和9年2月を目途に基本設計業務に必要な船舶の仕様等について一定の方向性を出せればと考えている。

したがって、仮に津市が設置する船舶建造検討委員会において船舶の仕様等の検討が順調に進み、方向性の整理や国の補助金などの財源のめどが立った場合、早ければ令和9年度の早い時期に基本設計を行い、令和9年度中から10年度にかけて建造工事に着手できれば、令和11年度に新たな船舶が就航できる可能性もあるかと考えている。

その他の質疑・質問

- 報告第30号 専決処分の報告について
- 新たな工業用地の候補地提案募集事業について
- みんなで使おう文化ホールプロジェクトについて
- 獣害対策について
- 消防団活動について
- 消防所有のドローンについて

▶ 津なぎさまちとセントレアを結ぶ高速船「カトレア」

